

親しく正しく和かに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫＝大本山本興寺御開士大平日善上人

季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗（本門流）
本覺山妙壽寺が発行する寺報です。
檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。



No.49

令和4年6月1日発行



本覺山 妙壽寺 〈法華宗（本門流）〉
〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1
電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427
ホームページ <http://myojyuji.or.jp>



ワレコラム No.6

鴻池(永岡家)と当山

昭和60年発行の当山写真集の寺史に「鴻池儀兵衛と外護の檀越」として江戸鴻池を紹介させていただきましたが、この度、同志社大学にて茶道を中心に精力的に研究を進められてる宮武慶之先生により、江戸鴻池の事柄が明らかになりました。

先生は、

「鴻池屋・永岡儀兵衛の周縁―『五節句図』に付属する抱一書簡二通に注目して―」
「鴻池屋・永岡儀兵衛の周縁(2)―南茅場町における美術品収集の意義―」
の2つの論考において、江戸・鴻池(永岡家)の経済活動や当時の自治組織における立場、役割などを調査研究され、さらには、茶道史に著名な冬木屋との婚姻関係、江戸琳派の酒井抱一との関係などにも言及され、今まで伝承でしかなかった事実が解明されたことは、当山にとり、誠に意義深いことと思います。

また、同家所有の茶道具などについても究明され、いわば江戸期豪商、週れば茶道と町衆文化の一つのありようの事例と言えましょう。そして、先生が当山に、実際にお越しになられ、永岡(鴻池)家墓石をご覧になり、またその場所が境内西側奥の宗祖報恩塔の並びであり、先々代日照上人墓地地割は深川時代よりその家格の重さが示されていると述べられました。ここに当時の外護檀越の鴻池永岡をはじめとする多くの檀越・檀家の支えにより四百年の年月を重ねることに今日を有難く思う次第であります。

(右資料をご希望の場合は、当山までお問い合わせください) 鴉 鵲



鍋島客殿前庭の蓮 (令和2年7月9日 当住上人撮影)

竹崎清彦氏 猿江別院でシャンソン音楽会開催

4月8日、竹崎清彦氏(檀家世話人)は、猿江別院において「シャンソン個展」(独唱)を開催されました。30名程の観客は、ピアノ演奏によるその美声と歌唱力を堪能しました。

初の独唱リサイタルであった竹崎氏は、「夢であったジャック・ブレルのシャンソンを歌う機会をいただき感謝しております。今後の自分の力に変えていきたいと思います」と、次のリサイタルに向けて抱負を述べられました。



花束を手にした竹崎氏(中央)



当山では、猿江別院での各種催事(1・2階利用)を受け付けております。
(当山受付にご相談ください)

法要のご案内

(別紙参照)

コロナウイルス感染の拡大防止のため、感染対策を十分に行事修いたします。

孟蘭盆会施餓鬼法要

7月16日(土) 新孟蘭盆会法要(新盆) 午前11時
孟蘭盆会法要 午後2時 動物諸霊法要:正午

秋季彼岸会中日法要

9月23日(金・祭) 初座:午前11時 第二座:午後2時
動物諸霊法要:正午

宗祖第741遠御忌御会式

11月3日(木・祭) 御会式法要 午後2時

予告

9月1日(木) 於 猿江別院
関東大震災犠牲者第百回忌法要
午前11時 法要
昼食後、両国・東京慰霊堂を参拝予定(別紙参照)

猿江別院御写経会

8月11日(木)・10月20日(木) 12月未定
※毎回、13時～19時 参加費:500円

新規墓所 ご案内

3尺×4尺=6基
3尺×3尺=6基
2尺×2尺=8基

詳細は当山までお問い合わせください。

正隆会

[SHORYU-kai]
午後2時開催

月例講
ご案内

当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例講正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例会では、毎回1時半より正隆廟墓前法要を奉修しております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため離隔距離をとり、実施いたします。

6月11日	勉強会「日蓮紀行」拝読 20
7月9日	写経会
8月	休会
9月1日	関東大震災犠牲者第百回忌法要
10月8日	勉強会「日蓮紀行」拝読 21・婦人会総会
11月12日	写経会
12月10日	三千遍唱題会



当住上人の

宗務院 DIARY

3/4	学林卒業式・学務協
3/11	東日本大震災・東京大空襲・ウクライナ侵攻犠牲者慰霊法要
3/11	内局と布教機関との連絡会議
4/11	第16回報恩奉賛会総務会 全日仏青 理事長就任祝賀会 (ロイヤルホールヨコハマ)
4/14	令和4年度金井内局第1回責任役員会議・内局会議
4/16	教学研究所所員会議・ZOOM会議
4/18	法華宗連絡協議会・カレンダー会議 於 京都
4/19	「無上道」編集会議
4/25	日隆聖人門相会 於 富山・誕生寺
4/27	宗務顧問会(都ホテル尼崎)
4/28	興隆学林後援会幹事会 (都ホテル尼崎)
5/11	門連常任理事会 於 池上日蓮宗務院
5/16	第2回責任役員会議・内局会議
5/17・18	第77次定期宗会
5/19	第140代管長桃井日英猊下推戴式 於 京都・本能寺
5/24	第3回責任役員会議・内局会議
5/24・25	令和4年度宗務所長会議

● 5月8日	● 5月8日	● 4月26日	● 4月22日	● 4月16日	● 4月13日	● 4月11日	● 4月10日	● 4月9日	● 4月8日	● 4月5日	● 3月22日	● 3月15日	● 3月11日	● 3月6日	● 3月3日	● 12月26日				
花祭り法要	世話人竹崎清彦氏シャンソン音楽会	本年も烏山仏教会寺院個別奉修 第1回猿江納骨堂建設委員会 内田祥哉先生一周忌法要 (祥月日5月3日)	千鳥ヶ淵戦没者慰霊宗門法要 東京フデイストクラブ(全仏加盟 団体) 新年度例会・当住上人会長 就任	元総代宮岡栄吉氏三十三回忌法要 17日 つじ観賞会	下谷感應寺前住職福島典雄上人ご 慰労会 於 浅草ビューホテル 葉山やきへ(鰻割烹あつむ) 夫人 (慈真院妙美日登信女) 逝去②	5月1日、2日通夜葬儀 於 当山 元世話人故上谷良憲氏偲ぶ会 於 錦糸町東武ホテルレバント東京 淡交会第六東支部茶会 於 明治記念館	猿江稲荷春季大祭 清興・落語三遊亭とむ③	故山木宏之元総代一周忌法要 元参議院議員田嶋陽子氏来山 元総代大野典也先生牧子夫人ご紹介 により、田嶋氏作のろうけつ染「いろ は曼荼羅」を当山に寄贈。④	導師・妙法寺佐々木明乗上人 於 当山 東日本大震災犠牲者追悼法要・東 京大空襲犠牲者慰霊 於 宗務院 元総代故小林美之助氏・幸夫人 (慈徳院東功日幸清大姉) 逝去 21日、22日通夜葬儀 於 当山①	内田祥哉展 於 田町建築学会 三吉恵子さん四十九日法要 導師・妙道寺高橋顕昭上人 於 当山 中村外二工務店社長故中村義明氏 弔問(2月17日)逝去 於 当山茶室 移築施工	移築施工	世話人竹崎清彦氏シャンソン音楽会	花祭り法要	本年も烏山仏教会寺院個別奉修 第1回猿江納骨堂建設委員会 内田祥哉先生一周忌法要 (祥月日5月3日)	千鳥ヶ淵戦没者慰霊宗門法要 東京フデイストクラブ(全仏加盟 団体) 新年度例会・当住上人会長 就任	元総代宮岡栄吉氏三十三回忌法要 17日 つじ観賞会	下谷感應寺前住職福島典雄上人ご 慰労会 於 浅草ビューホテル 葉山やきへ(鰻割烹あつむ) 夫人 (慈真院妙美日登信女) 逝去②	5月1日、2日通夜葬儀 於 当山 元世話人故上谷良憲氏偲ぶ会 於 錦糸町東武ホテルレバント東京 淡交会第六東支部茶会 於 明治記念館	猿江稲荷春季大祭 清興・落語三遊亭とむ③	故山木宏之元総代一周忌法要 元参議院議員田嶋陽子氏来山 元総代大野典也先生牧子夫人ご紹介 により、田嶋氏作のろうけつ染「いろ は曼荼羅」を当山に寄贈。④

寺日記

てらにつき

● 5月28日	● 5月26日	● 5月22日	● 5月14日	● 5月10日	● 5月10日	● 5月9日	● 5月9日
於 青山・根津美術館	披露会 於 椿山荘 上田宗箇流新緑茶会	当山⑤ 三遊亭好一郎真打昇進 披露会 於 椿山荘 上田宗箇流新緑茶会	丸山ヤス子さん(ちり めん細工作家) 御夫君 五十回忌・祈願祭 於 当山⑤	野倉徹也氏 於 築地園正寺 第2回納骨堂建設委員会 5月例会 講師・建築家 田中 野倉徹也氏	導師・妙法寺佐々木明乗上人 東京フデイストクラブ 5月例会 講師・建築家 田中 野倉徹也氏	谷中妙泉寺二十一世事 妙院日高上人内室井上 悦子夫人(逝去) 13日、葬儀 当住上人弔問 三吉恵子さん百箇日法要 導師・妙法寺佐々木明乗上人	福知山・光延寺前住職 井上浩妙尼上人遷化 12日通夜 当住上人通夜弔問 谷中妙泉寺二十一世事 妙院日高上人内室井上 悦子夫人(逝去)

予告

第12回 竹灯籠能・落語会

落語:春風亭 一之輔 能:浅見 慈一「小鍛冶」

日程:令和4年11月5日(土)
会場:妙壽寺本堂 開演:13:00(開場 12:30)



彫刻家吉田芳夫先生と、そのご一門 彫刻作品ご寄贈にあたって

■ 吉田芳夫

四尊像



日朗聖人 41×35×26 (cm)



日像聖人 39×37×28 (cm)



日隆聖人 39×36×28 (cm)



日崇上人 39×35×27 (cm)

今から四十年前程前、住職となり日の浅い頃でありました。昭和
新本堂落成後、門祖日隆聖人御
誕生五百年の記念として、同聖人
および日朗・日像聖人、当山開山
日崇上人御尊像制作を吉田芳夫
先生にご依頼いたしました。
そして取材のため、京夫人と三

吉田芳夫先生の思い出

人で尼崎大本山本興寺、京都大
本山妙蓮寺に上り、ご尊像を参
拜、見学させて頂いた一泊二日の
旅は、昨日のことのように鮮明な
思い出であります。

先生は「彫刻は空間芸術」と
主張され、制作室では、ホシトリ
なども拝見させて頂きました。ま
た、東京藝術大学演劇部OBで、
私を滝沢修の演劇「炎の人ゴッホ」
に連れて行つて頂いたのも楽しい
思い出です。お酒が入ると演劇の
話、学生時代恩師の事、新制作
会彫刻部設立の頃など、談論風
発の趣でありました。

御尊父は帝展重鎮の芳明先生、
伯父様は日本美術院の白嶺先生、
ご舎弟は大象先生であり、島村一
門のお血脈でもあられた先生。芳
明先生と先々代日照上人はご交
誼を通じ、そのご一門の作品は当
山にて永く大切に護持して参り
たいと思う所存です。（当住廣明）



茶人 46×34×35 (cm) ●



鶴化 45×42×24 (cm)



母子像 25×10×21 (cm)



演技者 D 55×58×55 (cm) ●



日隆上人記念品「昇龍」
10×15×10 (cm)



天女（妙法菩提）
上 18×35×8 (cm) 下 22×24×6 (cm)



レリーフ 「ざくろ」 40×60×15 (cm) ●

■ 吉田芳明



文殊菩薩 獅子王 250×350×100 (cm)



羅漢像（僧形座像） 20×18×18 (cm) ●



琢玉（たくぎょく） 39×55×24 (cm)

■ 吉田白嶺



宗祖御尊像 猿江別院



三宝尊 猿江別院

■ 吉田大象



老婦人の像 82×20×20 (cm)



導師机（正面の彫刻） 80 × 137 × 80 (cm)

吉田芳夫 よしだ・よしお

明治 45（1912）年 2 月 7 日、東京都本郷区に生まれる。祖父島村俊明、父吉田芳明（本名芳造）、伯父吉田白嶺と代々彫刻家を家業とする。昭和 11 年東京美術学校彫刻科塑像部を卒業。同 13 年第 13 回国画会展に「農婦木彫原型」で初入選し K 氏賞を受けるが、翌年、東美校同級生で国展での同志であった佐藤忠良・柳原義達らと共に新制作派協会彫刻部を創立し、その創立会員となる。51 年には第 40 回新制作展出品作「白道」で中原悌二郎賞受賞。平成元（1989）年 11 月 4 日逝去。享年 77 歳。

吉田芳明 よしだ・ほうめい

明治 8（1875）年東京都本所区に生まれる。吉田白嶺の弟で、島村俊明に弟子入り、その娘婿となり、実質的には宮彫師島村家 11 代目となった。明治 33 年パリ万国博覧会では「島村芳明」の名で出品、銅牌を受賞している。同 43 年日本彫刻会に参加、第 4 回文展にも出品し、兄の白嶺が院展に参加した後も文展を中心に制作発表を行った。昭和 18（1943）年逝去。享年 69 歳。

吉田白嶺 よしだ・はくれい

明治 4（1871）年東京都本所区に生まれる。最初商業に従事したが、芳明が彫刻家として名を成したのに発奮し、明治 34 年以降独学、大いに斯業を研鑽。日本彫刻会に入り、文展第 3 回に「念」を出品、同第 7 回に「寂靜」を出品、大正 3 年再興院展第 1 回に「楽女」を発表。以後、「清韻」（第 7 回）、「土部臣」（第 14 回）、「異教徒」（第 20 回）、「西行」（第 21 回）、「迦羅仙」（第 23 回）、「蓮月尼」（第 25 回）等、院展にて活躍。昭和 17（1942）年逝去。享年 72 歳。

吉田大象 よしだ・たいぞう

大正 9（1920）年東京都文京区に生まれる。父は吉田芳明。昭和 18 年東京藝術大学彫刻科卒業、新制作展初入選。同 38 年上野学園ホール壁面にレリーフ制作設置。55 年鳥取市文化センターホールに「早春像」、56 年、同上センターに「足跡像」「海風像」制作設置。58 年、東郷中学校（鳥取）に立像、60 年鳥取県わかとり国体メダル原型制作、翌年鳥取大学退官記念に鳥取大丸美術画廊にて個展。平成 21（2009）年 12 月 2 日逝去。享年 89 歳。